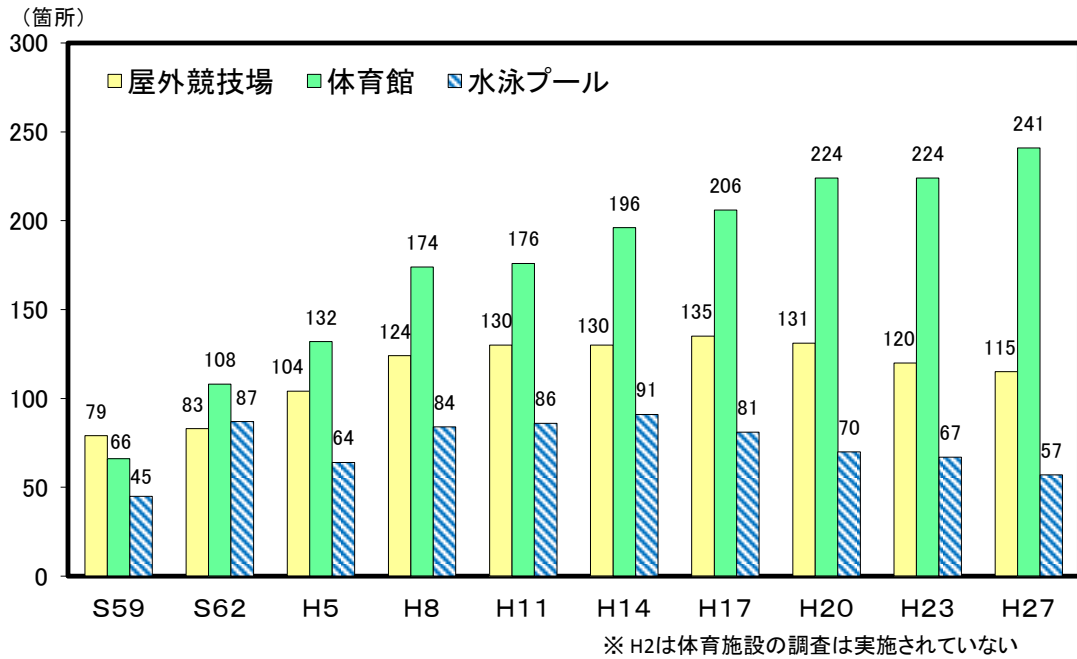


熊本県の体育施設数の推移(社会体育施設+民間体育施設)



解 説

【概要】

平成27年の県内社会体育施設は905か所(全国47,536か所)で、前回調査時の平成23年に比べ30か所増加した。

一方、県内の民間体育施設は230か所(全国14,987か所)で103か所減少した。

種類別には、屋外競技場が前回(平成23年)から4.2%減少して115か所、体育館が7.6%増加して241か所、水泳プールが14.9%減少して57か所だった。

種類別の施設数について昭和59年からの推移をみると、体育館数は一貫して増加傾向。屋外競技場は平成11年まで増加していたが、それ以降は横ばいとなり、近年は減少傾向。水泳プールは平成14年をピークに減少傾向にある。

○社会体育施設

一般の利用に供する目的で地方公共団体、独立行政法人が設置した体育館、水泳プール、運動場等のスポーツ施設。青少年教育施設等に附帯する体育施設は除く。

○民間体育施設

民間の営利・非営利体育施設で、一般の利用に供する目的で設置された体育館、水泳プール、運動場等のスポーツ施設。企業の職員の福利・厚生用の施設は除く。

○屋外競技場数

ここでは社会体育施設及び民間体育施設の屋外施設の中から、陸上競技場、野球・ソフトボール場、球技場の合計とした。

○体育館数

ここでは社会体育施設及び民間体育施設の屋内施設の中から、体育館の数とした。

資料出所	調査期日	調査周期
「社会教育調査」 文部科学省	平成27年10月1日	3年